

夢を目標に

青森市立筒井中学校
学校だより 第8号
平成30年 11月 日
男子268名 女子250名
計518名
〒030-0945
青森市桜川八丁目15-1
文責：校長 岩田 靖

「結」～仲間とつなげ 想いの輪



筒中祭 テーマ幕の披露 〈美術部 阿部里美 高森優奈〉



プログラム原画 古川 真菜実

10月20日・21日の両日、素晴らしい天気の中、平成30年度、筒中祭が開催され、今年度も美術部の精鋭により作成された渾身のステージ画が披露されました。

今年度は、テーマ性や式の流れを重視し、生徒会作成のビデオ上映から開祭式、新体操や体操部の発表までつながる、生徒会や特活部の工夫を感じることでできるスタートを切ることができました。2日間を通じたステージ鑑賞の約束事として、「絆」の曲が流れたら、私語をやめるということを目指していましたが、後半や2日目になるにつれ慣れたのか、指導せざるを得ない場面が見られたことが残念でした。まだまだ訓練が必要なようです。

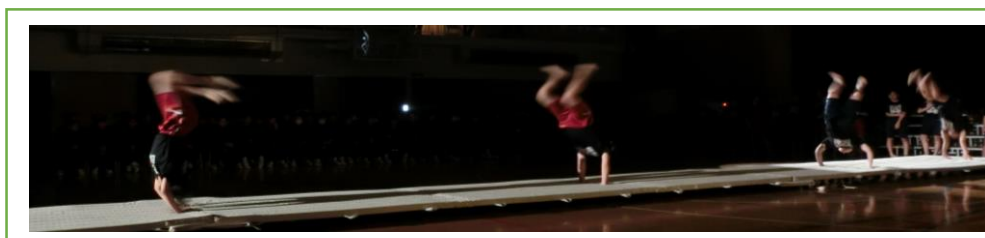
1日目ステージ



全校合唱「筒中讃歌」 指揮 小山廣海 伴奏 阿部里美



全校生徒によるモザイクアート



体操部 仮面ライダー ともちゃんとその仲間達



新体操部は リボンの演技 バブリーダンス Kポップ チア演技 友情出演など 盛りだくさん



校内展示あれこれ



多くの保護者のみなさまのご協力ありがとうございました。おやじの会・PTA会長自らも、焼きそばづくりに協力していただきました。広報委員の写真はアングルもよく、きれいな写真でした。



小学生も興味津々



今年度から生徒を食堂のウェーターに活用しました



とっち一神社 御利益は？



本格的に修行すれば……



つま楊枝アート（2学年）



千羽鶴アート（1学年）



お薦めの一冊（図書委）

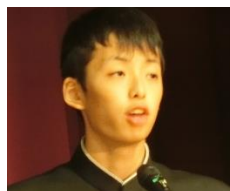


本物のような野菜（美術部）



保育園で公演を開けばいいのと言いました。（家庭科）

2日目ステージ



防犯弁論・英語スピーチ



総合的な学習の時間の発表



1 学年職場見学、2 学年職場体験（シダックス、消防署）



3 学年 修学旅行で学んだこと



選抜合唱 いいお手本になりました。



選抜合唱 フィナーレ カッコイイ！！



オタ芸まで 披露



本校のステージ発表の目玉はやはり吹奏楽部の演奏です。格調高い曲から氷結 CM 曲、USA まで大いに楽しめました。浜田小の山谷校長はあえてこれを見に来てくれたそうです。



合唱から何を学ぶか



今年度の合唱コンクールも3年生の圧倒的声量と甲乙をつけがたい合唱で終わりました。午後の部が始まる30分以上前からお客様が次第に廊下に並び始め、開始直前には1階の廊下の端から端までお客様が並ぶ状態になりました。教員生活もフィナーレを迎えようとしています。このような光景の見られる学校は本校でしか経験ありません。それだけ3学年の合唱には感動や思いが込められており、人を惹きつけるものがあるからこそ、それを期待して並んでくれるものと考えます。

合唱は学級の複数の生徒が各パートに分かれ、パートごとの練習を繰り返した後に、全体のバランスをとりながら、何度も歌い込むことで完成していきます。そこには、学級で1つのものを完成させる目的があり、その場合にやりたいかやりにくいなどの甘えや自分勝手な考え、行動は必要ありません。(カラオケで好き勝手に歌うのではないですから)

音楽の授業において、適当に好き勝手にやっておいて、本番で賞は取りたいというのは、ろくな練習もせず中体連で良い成績を収めたいというのと同じで、虫のいい話ではないでしょうか。また、全校集会でも話しましたが指揮者や伴奏者パートリーダーは人一倍の苦勞をしています、そうしたリーダーの心情を思い、協力する心が大事だと考えます。

合唱コンクールが近づくと、どの学校でも必ず揉める光景が見られます。そこには、リーダーの持つ責任感や使命感に対して、クラスメートがどう取り組むかの温度差があり、そこで衝突が生じるという現象です。頑張っている人や前向きな人を素直に応援し、協力する心があればいいのですが、中には度を考えないふざけやふてくされてムードを壊したりという状況もあります。本番までの過程を大事にし、結果から自分たちの行動を省みることも必要だと思っています。

名 言

- ・日常生活でいい判断ができないやつに、グラウンドでいい判断ができるわけがない。

平尾 誠二(ラグビー元日本代表監督)

- ・「勝つ意欲」はたいして重要ではない。そんなものは誰もが持ち合わせている。重要なのは、勝つために準備する意欲である。

アメリカのバスケットボール

有名なコーチのボビー・ナイトの言葉です



未成年の主張で今年度は閉幕

